

第15回ありあけジュニアピアノコンクール審査員 (※50音順、敬称略)

*A 本選

● ^{あかまつ}赤松 ^{りんたろう}林太郎：ピアニスト、洗足学園音楽大学客員教授
全日本学生音楽コンクール第1位、クララ・シューマン国際ピアノコンクール第3位をはじめ、国際コンクールでの受賞多数。神戸大学卒業後、パリ・エコール・ノルマル音楽院にてピアノ・室内楽共に高等演奏家課程ディプロムを審査員満場一致で取得。

国内各地の主要ホールはもとより、アメリカ、ロシア、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オーストリア、ハンガリー、台湾、コロンビアなどを公演で回る。

キング・インターナショナルから《ふたりのドメニコ》(レコード芸術準特選盤)、《ピアソラの天使》、《そして鐘は鳴る》(準特選盤)をリリース。新刊として『赤松林太郎 虹のように』を出版(道和書院)。1,000名以上の指導に携わり、多くの受賞者を輩出している(PINA 特級グランプリ・銀賞・銅賞、東京音楽コンクール優勝他)。

現在、全日本ピアノ指導者協会評議員・演奏研究委員。ブダペスト国際ピアノマスタークラス(ハンガリー国立リスト音楽大学共催)講師、ドナウ国際音楽コンクール審査員長、洗足学園音楽大学客員教授。<http://rintaro.jp/>

校訂楽譜に「スクリャービン・ピアノ曲全集」(春秋社)、「新編世界音楽全集—ロシア・ピアノ曲集1、2」(音楽之友社)、著書に『瞬間は永遠のなかに—世紀末のピアノイズム』(作品社)などがある。

*A 予選、チャレンジ B コース

● ^{かきうち}垣内 ^{あつし}敦：ピアニスト、エリザベト音楽大学准教授

桐朋学園高校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽部を卒業。その後ライブツィヒ音楽大学(ドイツ)および大学院を最優秀で卒業。1997年にフランス・リスト国際ピアノコンクール(ワイマール)にてファイナリストとして名誉ディプロムを、1998年には第44回マリア・カナルス国際音楽コンクール(バルセロナ)にて特別メダルを受賞。ドイツ各地でソロリサイタル、室内楽ならびにオーケストラとの共演等の活動を行う。

帰国後、王子ホール、東京文化会館、津田ホールにて6回にわたり東京での自主リサイタルを開催のほか、毎年夏にはイタリアでの「ローマの夏音楽祭」に出演。また、フルートのアンドレアス・ブラウ氏をはじめとするベルリンフィルメンバー、チェロのフランス・バルトロメイ氏など内外の著名な音楽家の共演者としても信頼を置かれるなど、ソロ・室内楽両分野において国内外で精力的に演奏活動を行っている。

またコンクール審査や学校コンサートなどの教育活動、指導や演奏に関わる講座の講師等、活動は多岐にわたる。これまでに桐朋学園大学伴奏員、同大学附属「子供のための音楽教室」講師、昭和音楽大学伴奏講師を経て、現在はエリザベト音楽大学准教授ならびに桐朋学園大学音楽部非常勤講師を務め、後進の指導にもあたっている。これまでに、太田敬子、西江恵子、村上弦一郎、小森谷泉、ゲアハルト・エルバーの各氏に師事。

*A 予選・本選、チャレンジ B コース

● ^{おかだ}岡田 ^{あつこ}敦子：ピアニスト、東京音楽大学教授

東京芸術大学大学院博士課程(ピアノ専攻)修了。学術博士。

第22回全日本学生音楽コンクール中学生の部西部地区第2位。第47回読売新聞社主催新人演奏会出演。

京都市立芸術大学助教授、沖縄県立芸術大学非常勤講師を経て、現在、東京音楽大学教授、日本ピアノ教育連盟評議員。

海外ではスクリャービン国際ピアノコンクール(イタリア)。ワシントン・ピアノ・フェスティバル・コンクール、国内では全日本学生音楽コンクール、飯塚新人音楽コンクール、埼玉ピアノ・コンクール、YPF(ヤマハ・ピアノ・フェスティバル)等の審査員を務める。

末永博子、原田吉雄、伊達純、ウラジーミル・トロップの各氏に師事。

演奏のみならず、評論や研究の分野でも活躍。とりわけスクリャービンの演奏と研究では国際的に認められ、「スクリャービン生誕125周年記念音楽祭」(モスクワ)や「ショパン没後150年記念第2回国際会議」(ワルシャワ)などに招かれ、演奏や講演を行う。

指導者としても日本音楽コンクール優勝者(2003年、2011年)などを輩出し、ヴァルディゼール夏期アカデミー(2011年、フランス)やワシントン・ピアノ・フェスティバル(2013年、2014年)などの講師に招かれている。

*A 予選・本選、チャレンジ B コース

● ^{さかい やすま} 堺 康馬：ピアニスト、武蔵野音楽大学教授

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。クロイツァー賞受賞。ドイツ・エッセン音楽大学を経てベルリン芸術大学を最優秀の成績で卒業。

これまでにリサイタルの他に、武蔵野音楽大学管弦楽団、同ウィンドアンサンブル、東京交響楽団とのピアノ協奏曲の共演、及び室内楽等の演奏においても好評を博している。

池田章子、藪博之、福井直敬、栗田和雄、新井眞澄、K. ヘルヴィッヒ、G. ヴァンシャヘーリの諸氏に師事。

現在、武蔵野音楽大学教授。埼玉ピアノコンクール、ヤングアーティストピアノコンクール審査員。

*A 予選、チャレンジ B コース

● ^{はら ひろこ} 原 博子：ピアニスト、福岡教育大学講師

東京芸術大学ピアノ、科及び同大学大学院修了。1985 年より国際ロータリー財団の奨学生としてシュツットガルト国立音楽大学に留学。同大学を首席で卒業。

第 30 回全日本学生音楽コンクール西日本大会高校の部 1 位。第 51 回日本音楽コンクール入選。マルサラ国際ピアノコンクール入賞。

1988 年帰国後は東京、大阪、名古屋、和歌山などでのソロリサイタルを行うほか、大阪フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、愛知シンフォニエッタ、和歌山市交響楽団との共演を行う。和歌山青年会議所文化振興基金「アゼリア賞」、和歌山市文化奨励賞受賞。

出口美智子、井口秋子、小林仁、リーゼロッテ ギールトの各氏に師事。後進の育成にも情熱を注ぎ、ピティナをはじめとし、フッペル鳥栖コンクール、日本クラシックコンクール、中津アンデイムジークコンクールなどの審査員、大阪国際音楽コンクール福岡事務局も務める。

現在、福岡教育大学講師。

*A 本選

● ^{よこやま ゆきお} 横山 幸雄：ピアニスト

1990 年ショパン国際コンクールにおいて歴代の日本人として最年少で入賞し、文化庁芸術選奨文部大臣新人賞など数多の賞を受賞。以来、人気実力ともに常に音楽界をリードするトップ・アーティストとして活躍している。

ショパン生誕 200 年を迎えた 2010 年に、ポーランド政府より、ショパンの作品に対して特に顕著な芸術活動を行った世界で 100 名の芸術家に贈られる「ショパン・パスポート」が授与される。同年「ショパン・ピアノ・ソロ全 166 曲コンサート」を行う。多くの観客に感動と反響を巻き起こし、ギネス世界記録に認定されたこの公演は、毎年少しずつ形を変えて、ゴールデンウィーク

の恒例コンサートとなる。

2011 年デビュー 20 周年記念公演では、チャイコフスキー、ラヴェル、ラフマニノフの協奏曲を一晩で演奏し、満場の喝采を博す。

2013 年からベートーヴェン生誕 250 周年に向けてのシリーズ「ベートーヴェン・プラス」をスタートさせるなど、自ら企画する数々の意欲的な取り組みにより、高い評価を確立している。リリースされた CD は、文化庁芸術祭レコード部門優秀賞、国際 F. リスト賞レコードグランプリ最優秀賞等栄えある賞を受賞。2011 年上野 学園石橋メモリアルホールで行った「横山幸雄プレイエルによるショパン・ピアノ独奏曲全曲集」をホールとキングレコードとの共同事業（全 12 タイトル）でリリース、また、2012 年デビュー 20 周年記念コンサートのライブ録音を、2013 年には「プレイズ・リスト 2013」を 2014 年には「プレイズ・シューマン 2014」を、そして 2015 年には「プレイズ・モーツァルト 2015」を ソニー・ミュージックダイレクトからリリース。

最新 CD のシューベルト即興曲集「アンプロンプチュ」はレコード芸術誌で特選となった。TOKYO FM 「横山幸雄のピアノでめぐり逢い」のパーソナリティをつとめ、東京と京都にレストランをオープンし音楽と旬の食をプロデュースするなど、活躍は多岐にわたる。現在、上野学園大学教授、エリザベト音楽大学客員教授として、後進の指導にも意欲的にあたっている。

オフィシャルサイト

<http://yokoyamayukio.net/>